

飼料用米を活用した乳牛向けペレット飼料の開発

目的と特徴

- ・飼料用米を主原料にした乳牛用ペレット飼料を開発しました。
- ・飼料用米をペレットの主原料にすると、飼料の自給率向上に役立ちます。イネWCSと併給すると80%まで高くなります。
- ・配合飼料メーカーで飼料用米を主原料にしたペレットを製造するので、酪農現場での新たな作業負担がありません。



飼料用米の収穫



乾燥調製・貯蔵



配合飼料の製造



乳牛へ給与

飼料用米を主原料にした配合飼料の開発



ペレット中の飼料用米率 41.8%

給与飼料の国産割合 79.8%

飼料用米入りフレーク&ペレットタイプ飼料

飼料用米主体v.s.とうもろこし主体の
配合飼料の給与比較をすると

同等の飼養成績が得られます

成果

- ・飼料用米の配合割合はペレット中41.8%まで高くなりました。
- ・ペレットの評価（粉化率、硬度、外形）は従来品に比べて遜色ないものでした。
- ・飼養試験の結果、乳量乳質には遜色ないものでした。

物理特性

**市販配合飼料と比べて
物理的に同じです**

1. 粉化率、硬度は配合飼料と比較して同程度です
2. 粳米100%ペレットは、配合飼料と異なる特徴でした

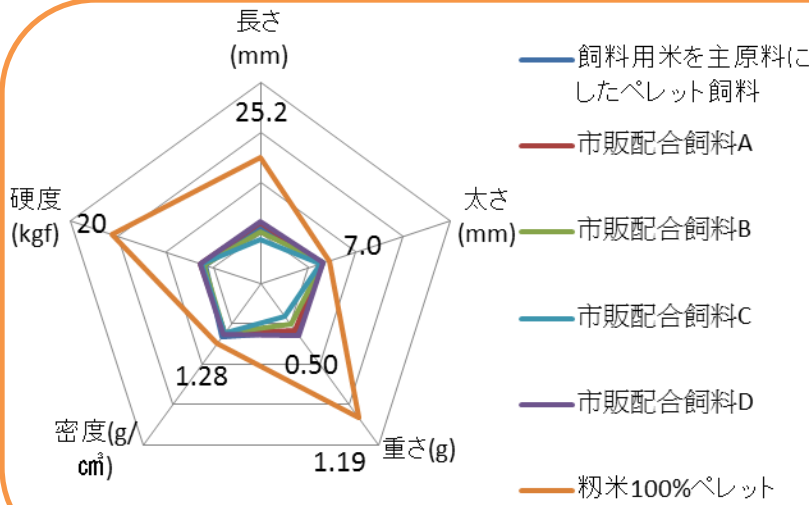


図1 ペレットの物理特性

飼養成績

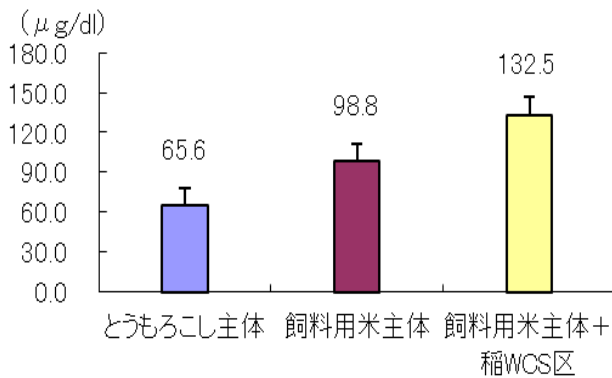


図2 乳中のビタミンE含量

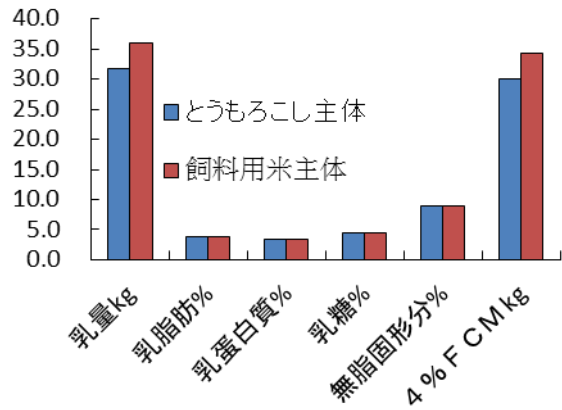


図4 飼養試験の結果

*FCM: 脂肪補正乳

飼料用米を主体とする配合飼料は従来の配合飼料と比べて遜色なく使えます

アンケート

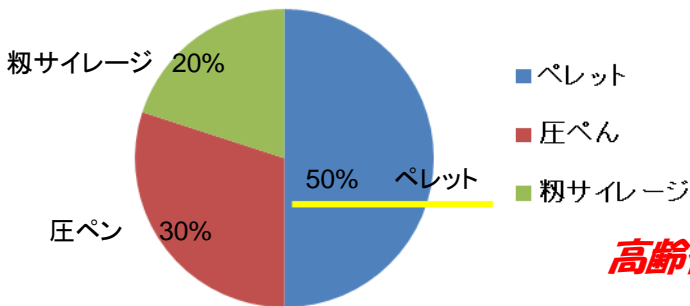


図5 酪農業従事者への飼料の希望形状アンケート

**飼料用米を使う加工なら
ペレットが好まれる**

**高齢化が進んでいるので加工形態は、
変えないでほしい**

対象作物、普及対象

- ・配合飼料、全国

対象農家

- ・乳牛を飼養している農家、今後飼料用米を導入したい酪農経営

必要な道具

- ・特になし

その他

- ・価格は、とうもろこしの価格の変動により、飼料用米ペレットを使うメリットは増減することがあります。

- ・特許出願中